



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

イノベーション創出強化本部
副本部長・主任コーディネータ 内藤 久俊

新技術情報クラブの皆様

コーディネータの内藤久俊です、いつもお世話になっております。
桜花の候、4月は桜が咲き、新生活が始まる季節です。確かに武田通りの桜も今年も立派に花をつけましたが、残念ながら昨年に引続きコロナ禍二年目を余儀なくされ、大学のキャンパスも依然として閑散としています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まって、1年以上が経過し思い返してみれば、社会の様相は一変しました。新型コロナ対策としての非対面や非接触というテーマに対し、今まで進まなかったIT化やIT化一歩進めて、ビジネスモデルや組織を変革する所謂DXを加速させる企業が増えています。具体的には、デジタル関連ビジネスの重要性が再認識され、いずれの国もデジタル関連サービスの伸び率がサービス貿易全体の伸びを上回っているとのことです。

大学の産学官連携イベントや手法も環境変化に即した形となりました。山梨県との「やまなし産学官連携研究交流事業」も令和2年度は講演、研究発表すべてを非対面・非接触とし大学ホームページを活用しWEBにて開催しました。また「新技術情報クラブ交流会」もWEBにて開催。ZOOM活用により研究者との質疑応答も有効になされたと思います。また「個別技術相談会」もWEB相談にて開催。大半が新規相談企業はないかと思います。

大学への技術相談にも変化がありました。ここ一年コロナ関連のご相談としては除菌水生成装置の自社開発、次亜塩素酸水の除菌レベルと消臭効果の検証、マイクロバブル水の活用による除菌効果検証、小型ウイルス検査装置の実装化、飛沫飛散低減システム開発などが寄せられております。依然として新型コロナウイルス感染症の感染の終息が見通せない中、これらの産学連携の成果が益々期待されるところです。最近県内の企業様に訪問致しますと、多くの企業様から技術的課題に加え、学生の採用が課題とのお話を頂きます。また採用が上手くいっている企業さんからは、共同研究などにより学部の先生方との繋がりを持っている企業がやはり有利だ、とのお話もあります。

一概には言えませんが、そのような観点からも是非、皆様方の多様な技術相談をお待ちしております。宜しくお願い致します。

インフォメーション 目次

- 01： トピックス (1 件)
- 02： セミナー情報 (2 件)
- 03： 助成事業および公募情報 (3 件)
- 04： 特許情報 (1 件)
- 05： 事務局からのお知らせ

●

□ ■

■01 トピックス (1 件)

◆燃料電池ナノ材料研究センター内田誠教授、柿沼克良特任教授等の学術論文が、米国化学会発行誌に掲載され、論文のグラフィカルアブストラクトが表紙に採用されました

令和3年2月4日(木)、燃料電池ナノ材料研究センターの内田誠教授・柿沼克良特任教授等の学術論文が世界最大規模の化学系学術団体である米国化学会 American Chemical Society 発行の学術誌 ACS Applied Energy Materials 誌に掲載され、グラフィカルアブストラクト(論文の図解抄録)が表紙に採用されました。

論文のタイトルは「Effect of Pt and Ionomer Distribution on Polymer Electrolyte Fuel Cell Performance and Durability」です。固体高分子形燃料電池においてPt触媒の低減は最大の課題ですが、本研究により、カーボンの粒子内のナノ細孔中のPtの有効利用にかかわる重要な知見が得られました。本研究は、新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEDO の支援を受けているほか、パナソニック株式会社との共同で行われ、同社社員で本学博士課程に在籍する小林亜貴さんも研究に参加しました。今後、燃料電池の耐久性や発電性能の飛躍的な向上が期待されます。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://fc-nano.yamanashi.ac.jp/topics/topics530/>

□ ■

■02 セミナー情報 (2 件)

◆【甲府商工会議所】創業セミナー(4日間コース)

本セミナーでは、ビジネスプランの作成ポイントについて、初めての方にもわかりやすく解説しながら、ご自身の計画を作成していただく内容となっていますので、ぜひご参加ください。

本セミナー修了者は“甲府市の認定特定創業支援事業を受けた創業者”として、『創業時、法人を設立する際に、登録免許税が軽減される』、『一部創業融資において金利優遇を受けられる』など、支援施策が受けられる場合があります。

日 時：令和3年5月8日(土)・15日(土)・22日(土)・29日(土)
会 場：甲府商工会議所

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofuucci.or.jp/seminar/20210508/>

◆【甲府商工会議所】事業再構築補助金活用セミナー
「事業再構築補助金」の活用・申請方法を解説します！

「事業再構築補助金」とは、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するため、中小企業等の思い切った事業再構築を支援することで、日本経済の構造転換を促すことを目的とする補助金です。本セミナーでは、申請・活用できる条件確認とともに、必要な手続きや準備方法を解説します。

日 時：令和3年5月13日(木) 13:30~15:30
形 式：Zoom オンライン
対 象：甲府商工会議所 会員事業者

詳しくは下記 URL よりご覧ください。



◆【公益財団法人 山梨中銀地方創生基金】

(公財)山梨中銀地方創生基金は、地方創生に取り組みを行う団体、個人への助成を通じて、地域社会の繁栄と地域経済の活性化に寄与することを目的に2021年度助成事業の助成先を募集します。

●起業・創業に対する助成事業

助成対象者：2021年4月1日～2022年3月31日までに山梨県内で起業・創業を予定する、又は起業・創業した法人・個人や、起業・創業を支援する団体等

助成金額：法人・個人、団体等 ともに1件あたり200万円以内

応募期間：第1回 2021年5月7日～5月29日
第2回 2021年10月5日～10月30日

●地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動に対する助成事業

助成対象者：山梨県及びその周辺地域に本店又は主たる工場・事務所等を有し(又はこれから有する)、山梨県の地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動を行う個人、団体及び中小企業等

助成金額：1先あたり100万円以内

応募期間：2021年6月1日～6月18日

●U・I・Jターンする個人に対する助成事業

助成対象者：2021年5月1日から2022年4月30日までの間に、U・I・Jターンにより山梨県内の企業へ新たに就職(正規雇用者に限る)し、かつ、山梨県に居住する個人(予定者を含む)

助成金額：1人あたり30万円

応募期間：2021年5月6日～11月30日

●技術等向上に取り組む個人等に対する助成事業

助成対象者：山梨県内に居住し、高度な技能・技術・知識向上に積極的に取り組み、将来、山梨県内においてこれらの成果を活用しようとする個人

助成金額：1人あたり50万円以内

応募期間：2021年5月6日～11月30日

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.yamanashi-chihousousei.or.jp/furtherance/>

◆【中小企業庁】「事業再構築補助金」

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらいなか、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築(新分野展開、事業転換、業種転換、事業再編など)を支援いたします。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://jigyousaikouchiku.jp/>

◆【やまなし産業支援機構】総合展示会出展事業

県内中小企業が自社の製品・技術等を広く周知し認知度向上を図るため、国内販路拡大につながると認められる工業製品関連(機械・電子金属・プラスチック関連)またはIT 関連の展示会・見本市等へ出展するための経費の一部を助成します。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/subsidy/g-exhibition.html>

■

■04 特許出願情報 (1 件)

～山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します～

特許情報については、クラブ会員様のみのご提供となっております。
本掲載では非公開とさせていただきます。

■

■05 事務局からお知らせ

～会員会社様へ課題を伺いいたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
訪問もしくは Web による面談により、会員企業様の持っておられる技術
課題をお伺いいたします。

ご希望の会員企業様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■